株式会社栗林設計 健康経営戦略マップ

作成年: 2025年8月

健康投資	健康投資の効果			目標年:2028年		健康経営	
	健康投資施策の取組み 状況に関する指標	従業員等の意識変容・ 行動変容に関する指標	健康関連の最終的な 目標指標	KGI	健康経営 の目標	の推進 方針	経営方針
社内ウォーキング大会の開催	社内ウォーキング大会参	1回30分以上の運動を週2	プレゼンティーイズム・		の日保		
置き型社食の導入	加率・入賞率	日以上、1年以上実施す る社員の割合の向上	アブセンティーイズムの 低減	プレゼン		社員一人ひと	
健診の結果、再検査となった 際の受診時就業時間認定・費 用補助	健診再検査・がん検診受診率	歩行又は同等の身体活動 を1日1時間以上実施する 社員の割合の向上	ストレスチェックによる 総合健康リスクの低減				
ん検診受診時の就業時間認 定・費用補助				ティーイズム を15%以下と		りが心身とも に健康で、能	"組織系の建 築設計事務 所"として
ストレスチェックの実施	ストレスチェック・健康 習慣アンケート回答率	朝食を抜くことが週に3 回以上ある社員の割合の 低下	ľ	する	従業員の疾病 の発生を予防 し、生産性を	力を最大限発 揮して元気に 働くことがで	『自らが創る 会社』を理念 に、より地域
健康習慣アンケートの実施				アブセン	向上させる	きる職場環境の整備をする	に、より地域 に信頼される 企業を目指す
健康経営セミナーの開催				ティーイズム を1.0日以下		ことにより、生産性向上・	正来で日相り
	健康経営の浸透状況	方針実現のための 体制・環境	サポート、組織的支援 (POS)、WSC等	とする		業績アップに つなげる 	
	社内会議・朝礼での発信	代表取締役を含めた「健康 経営推進チーム」の設置	ストレスチェック集団分析結 果の職場環境改善への活用				
		健康風土の醸成					

従業員の健康課題

- ・運動習慣のある社員が少ない
- 朝食欠食率が高い